

## 目標達成計画

作成日: 平成 22年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践について、理念を実現されるための具体的な目標を職員がもち、実践されているかが、さらに具体的にできるようになることが課題。	理念をふまえた目標を掲げ、よりよいサービスの実践に努めていく。	理念につなげる目標を全職員で話し合い、実践につなげていく。	12ヶ月
2	35	災害対策として、現在は併設の老健の備蓄に依存しているので、今後は独自の備蓄をしていく必要がある。	備蓄の確保をおこなっていく。	災害対策委員会で、議題にあげ備蓄の確保をおこなっていくとともに、火災・地震・水害等の災害時に、地域との協力体制が築けるように、運営推進会議で討議していく。	12ヶ月
3	2	事業所と地域とのつきあいについて、事業所が地域の一員として日常的な交流をもっと広めていくことが課題。	地域行事への参加をおこなっていく。地区の盆踊り、文化祭、防災訓練等に参加する。	地域の活動内容について情報を集め、積極的に地域行事へ参加をして行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。